

3年生保護者様

算数習熟度別学習について

日出学園小学校

校長 荻原 巖

1、目的

- ・算数の授業を習熟度別グループに分けることで、児童個々の習熟度、理解度に合わせて学習を進め、学習の効率を上げるとともに学力向上を図ります。

2、実施学年

4・5・6年

3、実施方法

- ・学年3クラスを4グループに分けて算数授業を行います。

4、グループの名称

基本、標準2、標準1、応用とします。

- ・基本クラスは各単元の基礎基本的内容の理解と定着を目標とします。
- ・標準クラスは各単元の標準的内容に加え、応用的内容の理解と定着を目標とします。
- ・応用クラスは各単元の発展・応用的内容に重点を置き、その理解と定着を目標とします。

5、グループの人数（例：学年児童100名の学年・・・1クラス33、34名）

- ・基本は15名程度、標準2、標準1は合わせて55名程度、応用は30名程度を想定。
授業での取り組みの様子やテスト結果で、クラス移動は随時行います。

6、グループ分けについて

- ・4年生1学期当初のグループ分けは、3年担任が1月実施の学力テストと算数の成績、授業の様子をふまえて学年内で話し合い、上記グループの人数に相当するように決定します。
- ・算数専科が各児童の成績と学習の様子をふまえて随時話し合い、必要に応じてクラス移動を行うことがあります。

7、指導教員

- ・算数専科教員が指導します。

8、授業を行う場所

- ・学年の1組～3組を基本、標準2、標準1、4階算数教室を応用に割り当て使用します。

9、授業の進め方

- ・学校の指導計画にそって、基本的に各グループ同時期に同じ単元を学習します。
- ・教科書および補助教材は同じものを使いますが、各グループの進度・学習状況に合わせてプリントも作成して使用します。

10、成績の評価評定について

- ・学年共通のテストをもとにして評価評定を行います。

11、その他

- ・教室を移動して、学習道具を机の横にかけて授業を行いますので、A4版大の練成テキストが入る薄手の素材の袋（算数バック）を各家庭でご用意ください。詳細につきましては、後日、BLENDで配信します。
- ・習熟度別グループに分けることで、児童間に心理的に優越感や劣等感などが生じないよう学級担任は趣旨説明を行うなど配慮いたします。